



OKAYAMA Y'S MEN

NO.5

NOV
2024



BROTHERHOOD
FUND



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区

JAPAN WEST



CONTENTS

PAGE 3

私とYMCA

今月は書記の高本さんが早々にご寄稿
くださいました。

PAGE 4-7

10月例会報告

超高齢化社会を生きると題して、川
崎医療福祉大学の岡本宣雄教授にお
話していただきました。

PAGE 8-9

落書き消去の意味

11月に行う瀬戸山陰部会で行う街の落
書き消去の意義について、岡崎隊長に
書いていただきました。

PAGE 10

YMCAニュース

クラウドファンディングへのご協力
のご案内です。

PAGE 11-12

今後の予定

1部会やYYYフォーラムなど、
意義深く、楽しい集まりがいっぱい

PAGE 13-14

10月第1例会議事録

10月第1例会の議事録です。

PAGE 15

のぶちゃんの聖書のお話

YMCAせとうちの協力牧師である
延藤好英さんのエッセイ。
第3回は「一元に生きる」です。

私とYMCA 書記：高本久史

私は、こどもの頃から教会に通っていましたが、「YMCAは、聞いたことがあるけどよくわからない」「正野さんが携わっている団体」等の意識しかありませんでした。そんな私が社会人になって、一年間に一回だけYMCAの事務所に行く日がありました。それはワイズポテトを積んだトラックが北海道から到着する日です。私は、正野さんが主催する倉敷ビジネスマンバイブルクラスのお世話を約25年程させて頂いている関係上、倉敷エリアの注文取りや、配達のお手伝いをしていました。ですから、ワイズポテトが入荷する日は友人の経営する会社から3トン車、軽トラそしてドライバーを2人おかりして、倉敷エリアの配達の為に一年に一回だけYMCAにお伺いしていました。

そんなYMCAとほぼ無関係な生活をしていた私に、ある出来事が起こります。54才の時に血液のがんの一種悪性リンパ腫と直腸の神経内分泌腫瘍の診断を受け、手術と抗がん剤治療の闘病生活に入ることになります。闘病時の私の心を支えてくれたのは、こどもの頃から身近にあった聖書の御言葉です。「思い煩いは主に委ねなさい、主が心配してくださる」この御言葉に本当に支えられ、ハードな住宅営業の仕事を続けることができました。また自分の人生をふりかえるいい機会になりました。振り返ってみると本当に苦労は多かったですが、心豊かな幸せな55年間でした。



そのころから、「自分は、こんなに幸せな人生を送れたのだから、もう自分の幸せより、身近な人、隣人の幸せの為に残りの人生の時間を使いたい」と思うようになりました。そんな時に敬愛する正野さんから、YMCAせとうちの理事職の推薦、しばらくおいて、岡山ワイズメンズクラブ、ギデオン協会岡山支部への入会のお誘いをいただき、「私のような小さなものでよければ」と喜んでお受けしました。

YMCAに加入して印象的なことが2つあります。一つは、昨年、御殿場の東山荘でおこなわれた、YMCA全国協議会に参加させて頂いた時に、たまたま来日されていたYMCA世界同盟会長のソレイラさんのおはなしを直接聞いたことです。彼女はレバノンの方です。彼女のメッセージから「困難な現代だからこそ、みんなで肩を組んで一歩前に進む」「どんな状況下にあっても人はみな平等」という強い意志を感じました。もう一つは、今年の1月のYYYフォーラムの時、ユースリーダーと子供たちとおもちつきをする機会に恵まれました。リーダーやこどもたちのキラキラした笑顔を見た時に、我々大人がYMCAをしっかりと安定運営して、こどもたち、リーダー、職員の皆様が安心して活動できる組織作りをする責任の重さを感じました。困難なことが多い世の中ですが、これからもYMCAの一員として、主に喜ばれる活動を続けていければと考えています。

10月第2例会報告

と き：10月16日（火）19時～20時40分

ところ：ミュージックバー OMS

出席者：リアル ワイズ 17名・ゲスト 2名・講師 1名 合計：20名

遠隔地 ワイズ 1名（米子）・ゲスト 1名

総合計 22名

「超高齢化社会のただなかで「老い」を生きる」

講演者：岡本宣雄さん 川崎医療福祉大学 教授（医療福祉学博士・社会福祉学修士）
日本基督教団 牧師（聖書神学修士）
YMCAせとうち評議員



■はじめに

講師の岡本さんは、大学卒業後、教会の教職に就かれ、その後高齢者福祉を学ばれるとともに、その現場を体験された後、19年前川崎医療福祉大学に赴任されました。現在高齢者福祉に関する研究と学生への教育（資格取得に向けて）にあたられています。

このようにこれまで多様な経験をされている岡本さんの今回の卓話は、大変興味深いものでありました。

■卓話の内容など

当日出席者に配られたレジュメを添付します。これを見ていただければ、卓話の概要はわかっています。今回事前に高原さんと私の二人で、岡本さんと打合せを行いました。その際、学生への講義ではなく、わかりやすく、かみくだいたお話をとお願ひしました。例会においては、岡本さんの略歴、現在高齢者が置かれた現状と課題、高齢者へのケア、現に行われている高齢者への公共的サービス、意思決定支援に至るまで、わかりやすくお話していただきました。

学問的な話というよりは、今高齢者の介護を行っている人、近い将来公共的介護サービスを利用する人にとっては、大変役に立つ具体的なものでした。

レジュメの内容は、本来約90分位要するものでしたが、岡本さんには約50分位にまとめていただきました。ご配慮いただき、ありがとうございました。

■リアルな皆さんからの感想など

卓話終了後、時間の都合で皆さんからの質問は、多くはありませんでした。しかし「ニコニコBOX」の際、皆さん全員から高齢者（親、兄弟）の介護や世話などについて、リアルな感想、悩み、意見が次々と語られました。それらに対して、岡本さんからの助言等もありました。

■終りに

今回の卓話は、私たちが一方的に聞くのではなく、高齢者介護等の経験を通して全員から感想、悩み、意見などが語られました。その意味で充実した、意義ある例会となったことは、大変よかったと思います。

講師の岡本さんに、感謝と御礼を申し上げます。
ドライバー 秋山義信

○例会を終えて

2042年がピークになるという超高齢化社会。私はというとその時生きていれば87歳、どのような状態になっているのか、そして取り巻く環境は・・・等、考えながらの講演内容でした。超高齢化社会とは老人介護の問題を筆頭にダブルケアラー、延命治療諸々の多くの問題が含まれ、本人の意志・家族間での話し合い、そして社会全体で取り組みが必要となってきます。介護については多くの人が必要となり、それに対しての様々な社会資源がありますが、そのシステムを上手く利用して本人・家族が安心して心豊かに過ごせるように知識を得る事が必要と思いました。

講演後には、メンバーから今抱えている課題を含め、色々な感想・体験を聞くことが出来、講師の先生を中心に充実した時間を持つことが出来ました。これにはお忙しい中、事前打ち合わせのお時間取っていただき、こちらの要望を色々取り入れていただき講演して下さいった岡本先生に感謝です。

本人の年齢、家族環境がそれぞれ異なる状態の中、“これから何が大事か”を考えながら帰路についたのではと思いました。私は明日じゃがいも荷卸し雨が降らないといいな・・・と思いながら帰りましたが、その後、後期高齢者に突入した主人と色々意見交換しました。良い学びの機会になりましたことに感謝です。

ドライバー 高原良子



○YMCA せとうち 岡山ワイズメンズクラブ 10月第2例会

日時：2024年10月15日（火）19：00～20：30

会場：ミュージックバーOMS・オンライン

テーマ：「超高齢社会のただなかで「若い」を生きる

―日常で経験するスピリチュアリティの観点―から考える」

講師：岡本宜雄（川崎医療福祉大学）

nobuo@mw.kawasaki-m.ac.jp

はじめに（自己紹介）

1. 高齢者が置かれている社会的状況

- ・高齢者の生活：生活実態と課題（生きづらさの観点から）
- ・高齢化の現状と課題
 - 地域別にみた高齢化の状況、高齢世帯の増加
 - 家族介護の多様化―近年の家族ケア問題
 - （ダブルケアラー、ヤングケアラー、8050問題）

2. 人生の最期（end of life）に関する福祉的課題

- ・人生の最期をどのように迎えるか―医療福祉の現場から―
- ・いのちの終わりをめぐる現代的課題・
- ・高齢者の終末期医療およびケア：日本老年医学会「立場表明」（2012）
- ・全人的な（holistic）視点から理解する

3. スピリチュアルケア（スピリチュアリティの理解）

- ・スピリチュアリティの概念
- ・スピリチュアリティの構造的な概念モデル
- ・全人的な痛み（total pain）：身体的・心理的・社会的・スピリチュアルな痛み
- ・スピリチュアリティの用語の定義

4. 地域の社会資源（social resources）

- ・「社会資源」（social resource）とは
- ・「本人」の生活を支える社会資源
- ・社会福祉（ケア）の視点：生活の全体性・関係性を捉える

5. 地域の社会資源（介護サービス）の理解と活用

- ・地域の社会資源の理解—介護保険のサービスを中心に—

<相談機関>

- ・地域包括支援センター：介護予防の中核機関
(対象：要支援1、2、予防対象者、一般高齢者：介護予防のサービス利用者)
- ・居宅介護支援事業所：介護支援専門員（ケアマネジャー）
(対象：要介護1～5：居宅サービスや地域密着型サービス利用者)

<各種サービス>

- ・居宅サービス（在宅、居宅に準じる場所（特定施設など））
- ・地域密着型サービス（在宅、入居施設：認知症対応型共同生活介護（グループホーム）など
- ・施設サービス（介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護医療院など）

- ・介護保険に関連する福祉情報

パンフレット：『あんしん 介護保険 2024 年度版』（岡山市：介護保険課）

<目次>

- 介護保険のしくみ（介護保険について）
- 利用の流れ（要介護・要支援認定の申請）
- サービスの利用のしかた（ケアプランの作成の流れ）
- 利用できるサービス
 - ・居宅（在宅）サービス
 - ・施設サービス
 - ・地域密着型サービス
- 介護保険料（保険料の決め方と納め方）
- 介護給付の適正化
- 介護予防・日常生活支援（総合事業）
- その他（相談と苦情、問い合わせ）

6. 意思決定支援

- ・アドバンス・ケア・プランニング（ACP：Advance Care Planning）
- ・アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の分類
 - 「一般的な ACP」「病気や病状に応じた ACP」「死が近づいた時の ACP」
- ・人生会議
- ・“わたし”の人生における「終活」（End of Life Care）を考える
- ・地域の社会資源の活用

おわりに

街の落書きを消去すること

落書き消去隊隊長 岡崎久弥

○街の落書きは、弱いものいじめ。だから他人事にはしてはいけないのです。

2002年、近所の国道に面した巨大な壁に、巨大な猥褻落書きが書かれ、あっけにとられたのが、活動のきっかけでした。しかし、よく見ると、街じゅうが落書きで溢れかえり、犯罪の空気が充満し、しかもそれに私たち自身が麻痺している現状に愕然としました。それから市街地中心部の落書きを調べ始めて、さらに事態の深刻さに驚きました。

当初デジタルカメラで落書きを一個一個撮影し、その場所を住宅地図へ正確に落とし込み、住民へのヒアリングを同時並行で進めるというフィールドワークの手法で落書きを調査していました。イベント的には1回2時間程度やっただけですが、それだけでは、もちろん実態がわかるわけがありません。その後1ヶ月ほど、毎日毎日、朝昼晩と、仕事の合間と終了後、そして土日を使って、500~600箇所のデータを集めました。そして、要因分析手法で事実関係を集約し、PC上の落書き写真と地図を暇があれば見比べるという、はたから見れば実に可笑しな作業をやっていました。

その結果、ある傾向が判明し、落書き犯罪対策の30ページほどの企画書をつくることができ、関係者へのプレゼンテーションを実施しました。なかでも、街の住民の方々百数十名へのヒアリング結果が非常に重要で役に立ちました。そこは情報の宝庫で、住民同士とのコミュニケーション、そして街と行政との関係、住民と警察とのやりとり、住民と青少年との意思疎通、街で働く若者と落書きとの関係や見解、犯罪動向と地域の対応、死角や場所と犯罪の傾向、薬物の取引と落書き実行犯の関係。ありとあらゆる情報が入手できました。

しかし、もっとも重要なポイントは、街の人々の悲しみと怒りの感情でした。それを目の当たりにして、もう「後に引けなく」なってしまった、というのが実情です。「落書き一斉消去方式」など岡山発の活動は、今でこそ、東京・下北沢や、大阪・西心斎橋アメリカ村など全国規模で展開され、理論的・学術的裏づけも体系的に整備できています。しかしこの成果は、落書き被害の甚大さに義憤を感じた、町内会・商店会・PTAの会員、学校、大学関係者や、消防団、ロータリークラブやライオンズクラブさんなどのボランティア団体、YMCAやワイズメンズクラブなどの社会教育団体、青年団や青年団協議会、県青少年ボランティアなどの全県規模の青年団体関係者、ボーイ&ガールスカウト、警察官、自治体職員、マスコミ関係者から議会関係者に至るまで、広範な各層の市民が、まさに全身ペンキまみれになりながら、試行錯誤のなかで生み出した御近所の妙案なのです。

調べれば調べるほど、「落書きは、こどものいたずら」でもなければ「たかが落書き」ではない、複雑で深刻な背景があることがわかってきました。調査の結果、都市中心部の空洞化と高齢化等による地域自治管理・地域教育能力の低下と、街で生起する問題への社会的無関心の増大が、様々な「スキ」を生み、それが、落書きとして目に見える形へ可視化されてはびこり、重犯罪者の誘引効果を生み出し、



犯罪の温床となっていることがわかってきました。そのなかで「割れ窓理論」というものがあることも知りましたが、落書き被害マップは、それを見事に証明していることがわかり、ニューヨークでも同じ発想で対策が取られていたことは、大きな励みになりました。しかも日本での落書きは、ストリートギャングがベースにあるわけではないことから、落書きという違法行為のスリル自体を楽しむ快楽犯罪のツールとして、実行犯のみならず、それを教唆煽動する一部の大人の側の商売の商材としても利用されている、とても陰湿な実態がわかってきました。

そして落書き犯は、対象を小さな店舗や高齢者のお宅などに集中させていることが膨大な写真記録から見え始め、犯罪特有の「弱いものいじめ」のメカニズムが見えてきました。落書き放置の現状は、放置され疎外された街の悲しい叫びのように見えてきたのです。街がいかに「仏つくって魂いれず」になっているかを痛感しました。

しかし、いざ消すとなると、話は違います。落書きは一定の規模でまとめて消さなければ、いちごっこになってしまうことがわかりました。これは小さな落書き消しを繰り返している間に実体験としてわかったことで、被害者が挫折してしまう気持ちがよくわかりました。一方で、落書きは私有財産の破損ということで、「自己責任論」から、ボランティア活動の対象テーマではないという机上の理論を展開する人もいます。

しかし、理屈と現実にはいつもギャップがあります。落書き犯罪は前述のように、地域自治、私有財産管理という自己責任論と、現実の都市経営資源の不足、そして管理手法の陳腐化が三位一体となって相互作用しながら自治管理の真空状態を作っているところに入り込んでいる現象なのです。（企業経営でも都市経営でも、マネジメントの面では似ている部分が多々あります。「相互扶助」の精神は、不可欠の要素です。）

落書き消去で効果をあげる方法を試行錯誤で模索するなかで、「一斉消去」という方式に行き着きました。通常は「みんなで消せば楽しく消せるじゃん」という感じでやっていますが、人様の壁にペンキを上塗りするには事前の許可と段取りが必要で、たくさんの壁をボランティアで消すとなると、予想以上の手間がかかりました。ですが、ここからが大切です。「ひたすらお願いして消させていただく」という、謙虚さが問われる準備の中で、地域との交流が生まれ、地域の中でも薄れていたコミュニケーションの（ハードルの少し高い作業を乗り越えるために）再構築が進み、かつ、ボランティア精神の再確認ができるのです。

その中で大発見がありました。こどもたちや若者が落書き消しを心から楽しむ姿です。子供たちが傷ついた街を、汗を流して楽しく修復することで、「自分たちの街は自分たちが守る」という気付きが芽生え、消した壁を気にして見ることで、街への愛情を自然に育み、卑劣な犯罪を許さないという自覚を新たにします。得がたい体感教育になると思いました。もちろん、子供たちが消した跡に落書きがかかることもあります。しかし、そこで、彼らは、「犯罪被害者」の気持ちを擬似体験し、こころのそこからの悔しさや悲しさを感じて、人の痛みを想像できるようになるのです。

今、我が国は、先進国の中でも、最も高い伸び率で犯罪が急増しています。色々な背景があるのですが、凶悪犯罪現場に落書きが放置されている現状はテレビ画面でも容易に確認でき、報道関係者からも問題点が指摘されています。「見て見ぬふり」は犯罪の土壌の一つになります。犯罪や街の危機に際して、いち早く危険信号を発し、市民が具体的に取り組むことができる身近な題材の一つが落書き対策です。落書きへの日常的なウォッチそのものが防犯活動の一つとなります。それが今では「人づくり」に新たな展開をはじめました。落書き対策は地域コミュニケーション・地域教育力の再構築手段の一つといえるかもしれません。「謙虚に、やりたい時に、やれるだけ。落書きを楽しく消そう」これが私達のモットーです。市民の皆様と共に喜びを分かち合える活動をしていきたいと思っています。11月もどうか宜しくお願いします。

クラウドファンディングへのご協力 ありがとうございました！

全国各地から100人の方にご支援をいただき、当初の目標に対して222%、1,111,111円のご寄附をいただくことができました。

今年のリフレッシュキャンプには、当初40名のこども達を無料招待しようと考えていました。そのために、これまで同様クラウドファンディングを8月3日に立ち上げ、全国の有志に協力していただくことにしました。全国のYMCA関係者、YMCAを支援しているボランティア組織「ワイズメンズクラブ」、YMCAが運営に携わっている倉敷市自然の家のSPC（特別目的会社）各社、そして多くの個人、団体からご支援をいただくことが出来ました。

このクラウドファンディングを始めるに当たって掲げていた第一目標は50万円でした。しかしこの目標は9月3日に達成することが出来、その時点で募集期間はあと15日間あったため、第二目標である70万円を目指すことにしました。この間、真備町で青山学院大学と倉敷児童合唱団の演奏会を行い、ここでも募金活動を実施するなど、様々な方法でご支援の協力をお願いした結果、9月18日の締め切りまでに110万円を超えるご支援をいただくことが出来ました。これにより、当初予定していた40名から45名に定員を増やすことが出来ました。

ご支援を頂いた皆様に、心から感謝いたします。ありがとうございました。



公益財団法人 YMCAせとうち ☎700-0821 岡山市北区中山下1-5-25 tel 086-223-1509
<https://setohime-ymca.org/>

24年度 第2例会の予定

11月例会 瀬戸山陰部会に合流

と き：11月9日(土)10:00～17:00
 ところ：岡山教会・中心市街地・クレド岡山
 内 容：ユースチャレンジ 街の落書き消去

12月第1例会 リーダー委嘱式

と き：12月3日(火)19:00～20:30
 ところ：岡山教会

12月例会 クリスマス例会

と き：12月17日(火)19:00～20:30
 ところ：岡山教会
 説 教：延藤好英さん(フリーランス牧師、評議員)

1月例会 YYYフォーラム in 倉敷自然の家

と き：1月18日(土)～19日(日)
 ところ：倉敷市自然の家
 内 容：YMCAメンバーとの交流・森の手入れ

2月例会 YMCAピンクシャツディ連携企画

と き：2月17日(火)19:00～20:30
 ところ：OMS

YMCAピーストライアングルミーティング

と き：12月6日(金)～10日(火)
 ところ：台湾 彰化市・台北市
 内 容：台湾 彰化
 韓国 晋州
 日本 せとうち
 以上、3つのYMCAで構成される
 ピーストライアングル定例会議
 彰化YMCA主催のチャリティコンサート出席
 晋州ワイズメンバーとの交流
 彰化ワイズ設立状況インタビュー

日 程： 6日 岡山空港出発・台北YMCA宿泊
 7日 台北市内見学・彰化に移動
 8日 礼拝参加・コンサート出席・晚餐
 9日 彰化市見学・交流会
 10日 空港に移動・帰国

参加費：66,000円(交通費、宿泊費等すべて込み)

対 象：YMCAせとうち会員(岡山ワイズメン)
 申込み：太田までお申し出ください(10月30日締切)



ワイズメンズクラブ 瀬戸山陰新年例会

1月18-19日

集合18日(土)14:00 現地
 解散19日(日)13:00 現地

会場：倉敷市自然の家 宿泊プログラム

ワイズメンズクラブ&YMCA合同企画 YYYフォーラム

森は海の恋人、私と森の良い関係づくり
 ～倉敷市自然の家の森の保全活動体験

～地球温暖化の時代だからこそ、できることを一歩ずつ～



対 象：ワイズメンとその家族、YMCA会員、ユースリーダー、リーダーOP、その他

参加費：7000円(1泊2日の宿泊費・食費)

内 容：瀬戸山陰部YYYフォーラム

送 迎：基本的に現地集合解散です。

1月18日(土曜日)

14:00 集合、開会礼拝
 15:00 ミニレクチャー 森と私たちの良い関係
 15:30 森の手入れのワークショップ
 18:00 自由時間
 20:00 夕食・新年会・オークション
 22:00 お風呂タイム、就寝

1月19日(日曜日)

7:00 朝食、おそうじ
 9:00 日曜礼拝
 10:00 YMCAメンバー&リーダーと交流
 12:00 昼食
 13:00 終了・解散

林野庁近畿中国森林管理局岡山森林管理署 樹木医
 森林インストラクター 岡山県シェアリングネイチャー協会 会員

梶原 利廣

海と森は、密接な関係にあります。落ち葉や枯れ木は、虫や微生物によって分解され、養分をたくさん含んだ「腐葉土」と呼ばれる土になります。雨や雪解け水は、この腐葉土に染み込み、長い時間をかけて流れ出します。腐葉土に含まれるリンや窒素などの養分も一緒に流れ出します。養分を含んだ森の水は、川となって、海に流れます。森から海に運ばれた養分は、海の中の植物プランクトンを含み、魚や鳥などが生活する豊かな海を作ります。そう、森は海の恋人なのです。

お問い合わせは、こちら だなたでも参加可能です。

TEL 086-223-1509 URL <https://setohime-ymca.org> YMCA

岡山～台北～彰化
 直行便で行く

**台湾彰化
 親善ツアー**

ピーストライアングル再結成
 彰化YMCAチャリティ・コンサート

12/6(FRI)～10(TUE)

66,000円/大人1名あたり

台湾彰化市とは

彰化市は昔、台湾原住民平埔族バサ族の集落「ボアソア社」があったところで、台湾語音でそれを「半線(poaN3-soaN7,ボアソア)」と宛てた。諸羅県に帰属していた。後に清朝政府が「顯彰皇化」という意味を込めた「彰化」に改定した。YMCAせとうちは2013年より、韓国晋州を加えた3つのYMCAでピーストライアングルを形成中である。

行程表

1日目 岡山…桃園空港…台北YMCA(宿泊)

2日目 台北…彰化…市内観光、公式晩餐会

3日目 日曜礼拝…教会…慈善コンサート

4日目 彰化…台北…新竹市公式訪問、夜市

5日目 台北市内観光…桃園空港…岡山空港

公益財団法人 YMCAせとうち TEL: 086(223)1509

<https://setohime-ymca.org> Email: info@ymcaokayama.org

瀬戸山陰部会開催近づく。



24年度 瀬戸山陰部会ご案内(第1報)

岡山市中心市街地 落書き一斉消去活動

Y's×SDGs Youth Action2024 協働企画

11月9日(土) 参加費：7,000円

11:00～17:30

日本基督教団岡山教会・岡山市中心市街地
TKPガーデンシティ岡山(クレド岡山4階)
*JR岡山駅よりタクシーで5分



落書き消去、みんなで取り組もう！ → きれいな環境づくり 安心安全な地域づくり → 笑顔あふれる地域づくり → 地域の魅力再発見



奉還町商店街、岡山駅、桃太郎大通り、表町商店街、高島屋、岡山教会、クレド岡山、天満屋、岡山本店、イオン岡山、劇場ハレノワ

落書き一斉消去予定地

詳しいご案内は、第2報(5月発行予定)にて。

お問い合わせは、こちら
TEL 086-223-1509 URL <https://setohime-ymca.org> YMCA

ワイズメンズクラブ瀬戸山陰部 24年度部会開催要項

日 時：2024年11月9日(土)11時～17時30分
集合場所：日本基督教団 岡山教会(JR岡山駅よりタクシーで7分)

第1部 岡山教会 → 岡山市中心市街地 → 岡山教会
第2部 岡山教会
第3部 TKP ガーデンシティ(クレド岡山4階 岡山教会より徒歩5分)
解 散 TKP ガーデンシティにて、現地解散

活 動 第1部 Y's×SDGs Youth Action 2024 (11時～13時)
オリエンテーション、ユースとともに、落書き一斉消去活動
お弁当・休憩 (13時～14時)
第2部 記念礼拝、シンポジウム (14時～15時)
ユースによるシンポジウム「落書き消去活動の意義」
第3部 友情を深める懇親会 (15時30分～17時30分)

服 装 汚れても良い服をご持参ください。帽子、靴も含めてベンキまみれになります。
*手袋、カッパはご用意します。お着替えは教会にて可能です。

持ち物 着替え、災害支援募金(任意)

交 通 岡山駅からタクシー・バス・路面電車まで来てください。

参加費 7,000円(昼食弁当・懇親会費・活動費・保険料などを含みます)

申込み QRコードよりお申し込みください。締切は9月末です。

岡山市中心市街地 落書き一斉消去活動とは？



街の落書きに、知らん顔していると…

どんどん広がっていく、青少年へ悪い影響がでる、犯罪をまねく。
そして、街が荒れていく。

だから、気づいた人みんなで、対応する。

ニューヨークを「犯罪の街」から「家族連れにも安心な街」に変貌させる道筋をつけたことで有名なジュリアーニ氏。市長就任後に取り組んだのは「地下鉄の落書き」の一掃だった。ジュリアーニ氏には信念があった。小さな犯罪を徹底的に排除していくことで、ニューヨークは綻びを見逃さない街として生まれ変わることを。初めは馬鹿にされた取り組みだったが、数年後に彼の信念は実を結び、殺人、暴行、強盗といった凶悪な犯罪が激減した。地下鉄の落書き対策が大きな成果を生んだのである。今、あなたの街は大丈夫ですか？

北海道ポテト、今年も到着



10月16日水曜日朝9時 ジャがいもディ。朝から小雨でこれから本降りにならないかと思ながらの荷卸し。知らぬ間に雨も上がりYMCAの職員の皆さん、メンバー、そしていつも倉敷から3トントラックでお手伝いくださる皆様がYMCA前にスタンバイ。

10月10日に十勝を出発したじゃがいも達がコンテナで到着、その後倉敷・協立病院・各メンバーの車へ乗せられ残りはYMCA事務所に山積みとなりました。

今回 ジャがいも500箱・かぼちゃ50箱・詰め合わせ200個の注文でした。途中、注文の状況により ジャがいもを減しました。最初 なかなか注文が入らず心配していましたが 最後は皆様のご協力でほぼ完売となりました。このワイズポテトは ただポテトを届けるだけでなく色々なハッピーを頂く活動です。蔵知さんご兄弟はじめ お声がけすると快くご協力いただける元メンバーの方々の近況を知ること出き、年に一度の届け先で繋がりを確認する活動です。今年も ホクホクのじゃがいもにバターを載せて楽しみました。(一番簡単で一番おいしい) 今年も集計・配送等お助け下さったYMCAの職員の方々に感謝です。 高原良子

10月第1例会議事録

と き：24年10月1日(火)19時30分～20時30分

ところ：YMCAせとうち

出席者：石原、長壽、片山、高原、秋山、市川、河田、正野（リアル）
白鳥、三浦信彦、高本（オンライン）

欠席者：谷川、坪倉、太田、難波、平田、佐藤

1) 報告事項

①9月第2例会(瀬戸山陰部EMCシンポジウム)

と き：9月17日(火)19:00~20:30

形 式：EMCシンポジウム、入会式、懇親会

ところ：OMS

講 師：清水さん(EMC主任・阪和部)

進 行：太田、石原

出席者：長寿、高原、片山、白鳥、太田、石原、三浦信彦、三浦克文、難波、
板野、市川、丸山、河田、秋山、正野、高本、谷川、鬼木、
佐藤、佐藤メネット、佐藤コメット2名

新会員：中原

鵜丹（西日本区理事）、清水（EMC主任）

ゲスト：延藤、佐藤

OMSスタッフ：金田

ZOOM：姫路クラブ：2名（八杉、岩崎）

姫路グローバルクラブ：5名(三宅、前田、橋崎、他2名)

米子クラブ：5名(福永、野口、早川、他2名)

他4名

・終了後のその場で懇親会を実施

②西日本豪雨災害・能登地震支援 報告会 Charity Concert

と き：2024年9月7日

ところ：まーびーふれあいセンター竹ホール

出 演：青山学院大学ハンドヘル・クワイア
倉敷児童合唱団(賛助出演)

主 催：YMCAせとうち

後 援：倉敷市・総社市 各教育委員会、青山学院校友会岡山支部
岡山ワイズメンズクラブ、岡山キリスト災害支援室

手伝い：石原、三浦信、市川、白鳥、太田、正野

3 YMCA秋のリフレッシュキャンプ

と き：2024年9月28日(土)~29日(日)

対 象：西日本豪雨で被災した児童 年長(5歳)、小学1~6年生(40人)

ところ：国立吉備青少年自然の家

*岡山クラブより、10万円寄付済み。45名参加

2) 確認、協議事項

1 10月第2例会

と き：10月15日(火)19:00~20:30

進 行：高原、秋山

ところ：OMS

講 師：岡本宣雄(川崎医療福祉大学講師、評議員)

課 題：高齢化社会について考える

＊ドライバーと講師による、事前打合せが必要。チラシは作成済み。

・10月3日講師の岡本先生とZOOMで打合せ予定。

2 瀬戸山陰部部会(11月第2例会)について

と き：11/9日 落書き消し、式典(ユースのお話)、懇親会

申込み：8月中旬より開始、オンラインによる個人エントリー

担 当：●1部 落書き消去 谷川(主査)、高原(主査)

11:00~13:00

- ・ユースから楽額消しの説明30分後、最大5グループに分かれて一か所ずつ落書きけしを実施。

- ・リーダーのお弁当代ワイズで負担(部会費)

13:00~14:00 着替え昼食

●2部 式典 太田(書記)、石原(会長)

14:00~15:00

- ・落書消去を振り返って分かち合いの時間を

●3部 懇親会 テーマ：「いざ出陣！ 瀬戸山陰部」

15:30~18:00

- ・友情を深める懇親会 (T K P ガーデンシティ岡山)片山、高本、長壽
- ・岡山クラブ出席者 19名確定(未確定者には、早期確定を目指し連絡)
- ・瀬戸山陰部出欠 今月中に確定するよう長寿部長が確認する。
瀬戸山陰部約30名 その他クラブ：10名 セとうちリーダ30名
- ・10/10最終締め切りで再度確認メールを長寿部長からする。

3 じゃがいもファンド

価格を据え置くか、値上げするか?以下、今呂するための要因。

要因1：仕入れ値の上昇 54円(一箱あたり)トータル 40000円の値上げ

要因2：運賃の上昇 435,400円 → 474,900円 39,500円のコスト上昇

- ・上記要因の結果、総合計8万円の増額。

→個数を減らしたので、3万円の増額に下方修正。

	前年度	目標	注文数	補正	残数
じゃがいも：	2600円	510箱	→ 550箱	→520箱	62箱
かぼちゃ：	3300円	50箱	→ 50箱	→ 40箱	6箱
三種混合：	3300円	170箱	→ 200箱	→180箱	62箱
玉ねぎ：	2800円	15箱	→ 50箱	→ 50箱	0箱 (完売)

4 10/5、6 ベッキオバンビーノ

会場での募金合計約9万円でした。ご協力に感謝します。

5 リーダー委嘱式

12/3(火)19:00~ で確定する。

のぶちゃんの「聖書のおはなし」

第3回 「最も重要な掟」



「イエスは言われた。『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい。』」
(マタイによる福音書 22章 37～39節)

こんにちは。元気でお過ごしでしょうか。のぶちゃんの「聖書のおはなし」の3回目になりました。1回目、2回目のおはなしを覚えていますか？1回目は「神さまからの贈り物」というおはなしでした。2回目は「一元に生きる」というおはなしでした。今日は「最も重要な掟」です。

聖書って、世界中で読まれていると同時に、いろんな人に語られています。時には自分の主義主張に権威を持たせるために使われることもあります。ですから、聖書って、わ

たしたちの生活に平安や喜び、また慰めや希望を与えるいのちの言葉なのですが、逆に、人を不安にさせ憎しみを増幅させることもあります。ですから「聖書の言葉を引用しているから、この人の言っていることは正しい」と自動的に判断しないでください。あなたが、そこに温もりや希望を感じるのか、それとも冷たさや闇を感じるのかは、一つの大切なバロメーターです。別の言い方をすると、神さまは愛の方ですから、「そこに愛はあるのか」と問うことです。

さて、今日の聖書の箇所は、イエスさまが、聖書の教えの中でどの掟が一番大切なのでしょうかと問われた時の答えです。イエスさまは二つのことを語られました。一つは「神さまを愛しなさい」です。もう一つは「隣人を愛しなさい」です。どちらも「同じように重要である」と言われました。「同じように」というのは「全く同じ」とは違います。どちらも大切なんだけど、順番があります。違いがあります。それはそうですよね。「神さまを愛する」というのと「人を愛する」というのは、同じ「愛する」という言葉ですけれども内容が異なります。わたしたちが「麵類を愛する」「猫を愛する」というのと「妻を愛する」「夫を愛する」というのと内容が異なるのと同じです。では、「神さまを愛する」の時と「人を愛する」の時は何が違うのでしょうか？その大きな違いの一つは、「神さまを愛する」という時は、「神さまを礼拝する」という意味があります。「人を愛する」という時に「人を礼拝する」という要素は入ってきません。「人を理解する」「人に優しくする」「その人のニーズに応える」などいろいろ考えられますが、「人を礼拝する」だけは入れてはならないのです。それが大きな違いです。ところがわたしたちは時として、人を礼拝します。人は完全ではありません。なのに、親、上司、恋人などの人を中心に物事を考える時、わたしたちはその人を礼拝しているのです。神と人との区別、このメリハリを失わないようにしましょう。「人に優しくするのは大切なこと、けれども人を神としてはいけない。礼拝するのは神さまだけ」。

人が何と言おうと、自分で自分のことをどう思おうと、神さまは常に変わず「わたしの目にあなたは価高く貴い」と言ってくれています。この神さまを礼拝し、心の中心にいていただきましょう。
あなたの日々の生活が神さまに愛されている喜びで満ちていますように。



ワイズメンズクラブ国際協会
第28回
西日本区大会

Y'S SLOGANS

岡山クラブ 会長 石原康正

○YMCAと共に楽しくワイズ活動！

Let's enjoy Y's Lives with YMCA.

瀬戸山陰部 部長 長寿和子（岡山クラブ）

○チーム瀬戸山陰 どうなるか？ではなく、どうするかを考えよう。

～さあ、動こう！ 自働・共働 ～

Let us not just worry about the future, but think about what we should do.

～Let's take action together with our friends in the Seto-San'in region!

西日本区 理事 鵜丹谷剛（神戸クラブ）

○つなげよう地域と世界、YMCAと共に Connecting Local to the World with YMCA

○楽しもうフェロウシップをポジティブに Enjoy positively our fellowship

アジア太平洋地域 会長 Joan Wong

○大きなインパクトを起こそう

Make a Great Impact

○大胆に、信念をもって奉仕しよう

Be Bold and Serve by Faith

国際協会 会長 Charming Shen

○太陽の輝きと笑顔

Sunshine and Smile

○簡潔さは美

Simple is Beauty



2025

6.14 sat.

SMILE. IMPACT. CONNECT.

■ 会場 ANA クラウンプラザホテル神戸

ホストクラブ：神戸クラブ・西宮クラブ・神戸西クラブ・神戸ポートクラブ・宝塚クラブ・神戸学園都市クラブ・芦屋クラブ